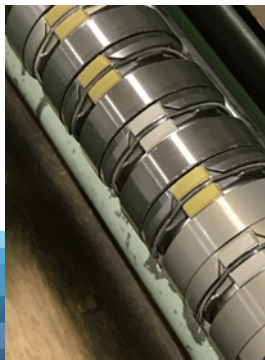


スリッター1号機

エアシャフト交換

メンテナンス しました。



よりよい製品が提供できるよう、
日々腕も設備も磨いております！
皆様からのご発注お待ちしております。

いつ来る？運転の自動化

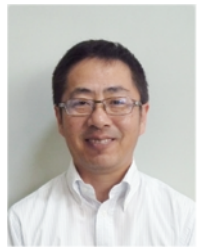
森 直樹 (代表取締役社長)



昨年、9年間乗っていた2010年式プリウスを2020年式に乗り換えました。2世代後のプリウスの進化は目覚ましく、また何よりも以下の「運転支援機能」がこれからの運転というものが完全自動化に向かって、全く変わってしまうものだというのを強く感じました。以下の機能が搭載されています。・PCS (プリクラッシュセーフティ) 衝突事故を防ぐ自動ブレーキ機能・LTA (レーンレーシングアシスト) 車線から外れないよう、自動でハンドル操作・RSA (ロードサインアシスト) 道路標識を認識し、車のディスプレイに表示し運転者に知らせる・レーダークルーズコントロール 自動で加速、減速しつつ先行車に追従、一定の設定速度で走る。これらの機能を使うと、前の車に追い付きそうになれば自動で距離を取り、離れていくとまた設定の速度まで加速します。車線からも外れないようハンドルの微調整もしてくれるのでほぼ半自動で運転している感覚です。車を運転するという行為自体が、完全自動化で丸ごと無くなるにはまだ少し先の気がしますが、確実に近づいています。完全自動化になると運転中というのは電車に乗っているのと同じ扱いになり、移動中も本を読んだり仕事をしたり…とますます効率(?)が良くなり、運転自体を楽しむ人にはある意味悩ましい?世界がそこまで来ているのを感じます。さらにいつかドライバーという職業が無くなり、運転すること自体が趣味と同じ扱いになるような未来を想像しています。誰もが手の中に高性能PC=スマホを持つかのような、大きなうねりがすぐそこまで近づいているのを車の進化に感じました。

マイナンバーカード

村田 恒夫 (経理部)



2020年はコロナ禍でマイナンバーカードが注目を集めました。新型コロナウイルスによる経済ダメージへの救済策により、各世帯へ特別定額給付金として1人一律10万円が給付されることになりました。郵送による申請よりオンライン申請がいち早く開始され、多くの方がオンライン申請を試みましたが、オンライン申請に必要となるマイナンバーカードを持っていない、あるいは、マイナンバーカードは持っているが、オンライン申請の際に入力を求められる電子証明書の暗証番号を忘れてしまい、オンライン申請時に5回以上誤入力をして暗証番号をロックされたといったように、申請を試みたができなかったというケースが多発しました。その結果、市役所窓口では照合作業や確認に追われ混乱が発生しました。そんなマイナンバーカードですが、総務省は2015年10月にスタートしたマイナンバー制度の普及促進のため、カード保有者を対象に、キャッシュレス決済すると利用額の25%、最大5000円分のポイントを還元する「マイナポイント」制度を2020年9月にスタートしました。当初、マイナポイントをもらうためのマイナンバーカード申込期限を3月末までとしていたため、年明け以降申請が急増し、3月には月別最多の254万枚を交付しました。期限直前となって、申請期限は4月まで1カ月延長され、交付済枚数が5月5日時点で3800万枚となり、交付率30%となりました。総務省が積極的に推進しているマイナンバーカードですが、現在、免許証に代わる身分証明書のほか、コンビニでの住民票などの各種証明書の取得、確定申告などで利用できますが、2021年10月(予定)には健康保険証対応、2024年度末を目処にマイナンバーカードと免許証との統合などが予定されています。私は、今まで不要と思っていたマイナンバーカードですが、行政手続きを始めとした各種サービスのデジタル化が急速に進んでいることから、2月にマイナンバーカードの申請を行ない、3月に取得し5000円分のポイントをペイペイにて還元しました。これからも、今まで以上にセキュリティーやサービスを充実させて使いやすいマイナンバーカードになるように期待しています。

伊東家の4月はお祝いラッシュ

伊東 義弥 (特販部)



我が家では、誕生日やお祝い事があると姉の家族、妹の家族も合わせてみんなでお祝いをするのですが、なぜか4月は誕生日やお祝い事が重なっています。4月7日：母と次女の誕生日、4月14日：父の誕生日、4月27日：両親の結婚記念日、4月30日：妻の誕生日とこのように結構重なっています。そのため、4月は2回に分けてお祝いをします。前半は、母と次女の誕生日会。後半は、父と妻の誕生日、両親の結婚記念日を一緒に祝います。今までは外食がメインだったのですが、去年からコロナが始まり集まると人数も多いことから外食はあきらめてホームパーティーに切り替えです。食べたいものをテイクアウトしたり、それぞれの家で分担して作った料理を持ち寄り、家でやるのがメインです。家でやるとなると準備や後片付けなど面倒くさいことが多いのですが、それでも時間を気にしなくてもいい、子供がたくさん集まりますが多少騒いでいても気にしなくてもいいなど色々なメリットがあることが分かり最近ではなかなかいいなと思っています。コロナの影響でなかなか外に遊びに出たり外食したりできなくて大変ですが、それ

でも家族で集まってみんなでお祝い事や時間を共有していくことで絆は深まっていくのだと思いました。今のところ3家族で13人、今年の6月に私の妹の子供も増えるので総勢14人。それぞれの誕生日などをみんなで集まって祝うのは大変ですが、これからもずっと続けていけたらいいなと思います。



三度目の入院

山口 治剛 (製造部)



昨年9月18日(金)の夕食後に久々にしゃっくりが出て来ました。もう20～30年出てなかったのにも思いつつも1時間ぐらいで治まったのですが、また数時間経ってまた起こり出したのです。次の朝、目が覚めるとまたいきなりしゃっくりが出始めるのです。1時間位続いて止まり、2～3時間位してまた出始めるのです。次の日も朝起きたら同じ症状が続くのでこれは4連休中に治しておかないとまずいと思い、大府の休日診療をしている病院に行きました。そこで「しゃっくりを止める薬は無いからまだ続く様だったら消化器内科を受診してください」と言われ帰ってきました。連休三日目に南生協病院に消化器内科が有る事を知り救急外来を訪ねた所、「連休後もまだ続いている様だったら消化器内科を受診してください」と言って検査をする事もなく帰らされたのです。症状は最悪、しゃっくりが出だすと息もしづらい状態でした。連休は終わり、やむをえず会社に電話を掛けて体調不良の為休みを取る事にしました。どこの病院に行こうか迷っていると、そういえば25年前に共和病院を受診して脳出血が見つかり、転院して藤田学園で手術をしてもらった、あの病院なら消化器内科も有るし何とかしてくれるんじゃないかと思い行ってみました。そこで血液検査、CT検査をしてもらい、明日の朝、胃カメラの検査をする事になり帰ってきましたが、ほどなくして共和病院の先生から電話で「CT画像をよく見たら出血してるかもしれないからすぐに紹介状を書くので藤田学園の救急外来へ行ってください」と連絡がありました。そこで紹介状を持って藤田学園に行つて改めてCT検査をしてもらったところ脳幹出血と判明し緊急入院となったのです。脳幹は呼吸や血液循環などの生命活動を送るうえで基本的な神経細胞が集中している所なので手術はできないとのことでした。でも今は、当初言われていた「しゃっくりは、治らないかも知れない」と言っていましたでしたがそれも治りました。その際には、本当にご迷惑をおかけしました。皆さんもしゃっくりには注意しましょう。

ラジコンカー

橋野 徳明 (製造部)



20年前(もっと前かも)に買ったラジコンカーを完成させようとして出してくる。当時はラジコンカーのドリフトが流行っていて僕もその流行りに乗ろうと思い奥さんに頭を下げ買ってもらった物です。ただドリフト専用のラジコンは高く手が出せないのもので普通のラジコンカーを改造してドリフトさせれば良いと思い普通のラジコンカーとドリフト専用との違いは何かと調べると一番の違いはタイヤ。あとは四輪駆動であることが分かりました。普通のラジコンカーはゴムタイヤ(昔はスポンジタイヤもあった)でドリフト用は滑りやすくするために樹脂でできたタイヤと分かりタイヤだけ変えればと思い四駆で普通のラジコンカーを買う。実際、タイヤを変えたら面白いほどドリフトができた。



車種は当時乗りたかったS15シルビアを選び、ボディはオーバーフェンダーを付けて改造予定でパーツも買う。イメージは目立ってカッコいい仕上がりになっていたはずがオーバーフェンダーが自分が描いていたイメージと違い、なかなかうまく付けられないまま作業はストップし、こうしてお蔵入りになった。それを自粛期間ともあり再度出してきたり作ろうと試みるも、諦めてまたもお蔵入りとなりました。

巨龍竹引越し

巨龍竹を要工場より、甲冑ミュージアム駐車場の北側に移設しました。

メイダイ今井様、藤原様、山口(和)さん、アハマドさん、南雲さん、皆様ありがとうございました。



まもりたい



ナンジャモンジャ

久末 菜摘 (森松産業)



コロナ禍で中々お出掛けが出来ない為、何かお家で子供達と楽しめる遊びがないかと探していたとき、この「ナンジャモンジャ」というカードゲームに出会いました。ルールは、カードの山から一枚めくり、カードに描かれたモンスターにその人のセンスで特徴を捉えた名前を付けて、それをプレイヤー全員が覚え、以降めくられたらその名前をいち早く言えた人が溜まったカードを獲得でき、最終的に手元にあるカードの枚数が多い人が勝ちというゲームです。ルールがとっても簡単なので子供でも出来、記憶力や判断力が鍛えられるゲームで、子供から大人まで大盛り上がりでした。初めは覚えるのは簡単と思っていましたが、モンスターが12種類いる為、枚数が増えるにつれ途中で全く思い出せなくなったり、子供達はヘンテコな名前を付けるので、みんな覚えるのに必死でした。大人だけでも盛り上がるのもおすすめのゲームです。最近ではカードゲームやボードゲームなどが増えており、お家時間を楽しめるグッズが沢山ありますので、いろんなゲームを息子と一緒に遊んでみたいと思います。

